

# 気候変動に対応した マイワシ資源変動機構の解明

生物生態部

協力機関：北海道区水産研究所、  
東北区水産研究所、  
養殖研究所、  
東京大学

## 研究の背景・目的

1. マイワシ資源の極端な現象と漁業の低迷
2. 気候変動と小型浮魚類の資源変動は世界的にも同期
3. 我が国周辺の漁業資源の将来予測の必要性

## 研究成果

1. マイワシの生き残りが水温変動に大きく左右されることが判明
2. マイワシの産卵・摂餌・成長・回遊に関する情報の蓄積
3. マイワシの産卵場・生育場の変遷過程と生活史の変化をモデル化

## 波及効果

1. 気候変動と餌料環境の変化が新たな研究課題としてクローズアップ
2. 温暖化が水産資源にもたらす影響について研究の方向性を示唆
3. 国際共同研究・比較研究の推進と国際研究計画との連携

